

カラダノート行動基準

株式会社カラダノートにおける「企業行動憲章」

2022年1月1日

私たちは、株式会社カラダノートの企業理念を実現するため、次の9原則からなる「企業行動憲章」を定め、これに基づき、関係法令およびその精神を遵守しつつ、高い倫理観をもって社会的責任を果たすべく行動します。

(持続可能な経済成長と社会的課題の解決)

1. 当社は「家族の健康を支え笑顔をふやす」をビジョンと掲げ、日本の幸福度の向上および社会課題である少子高齢化の解決に関連する事業者として、時代のニーズを的確かつ迅速に捉えるサービス展開をすることで、持続可能な経済成長と社会課題の解決を図っていきます。

(公正な事業慣行)

2. 企業活動に関連する法令を正しく理解し、これらを遵守することにより、不当または不正な手段による利益追求を排除し、公正かつ適正な取引を意識した高い倫理観に基づいて行動します。また、いかなる政治・行政組織およびそれらの関連団体に対しても正常かつ健全な関係を保持し、違法な行為はもとより、これらの組織との癒着という誤解を受けるような行為も厳に慎みます。

(公正な情報開示、ステークホルダーとの建設的対話)

3. 当社は、企業情報を積極的、効果的かつ公正に開示し、企業としての説明責任を果たし、当社をとりまく幅広いステークホルダーと建設的な対話を行い、信頼関係を確保します。インサイダー取引規制に抵触する行為は、当社の信頼性を著しく失墜させる行為であることから、その疑いを持たれるような行為も厳に慎みます。また、様々な広報活動を通じた多様なステークホルダーとのコミュニケーションを積極的に促進することにより、広く社会からの信頼を得られるよう努力します。

(人権の尊重)

4. 個人の人権と職場における安全に配慮し、一人ひとりがその能力を最大限発揮できるよう、不当な差別やハラスメント(いやがらせ)のない明るく働きがいのある職場環境の確保に努めます。

(顧客・ユーザーとの信頼関係)

5. 顧客やユーザーの視点に立って物事を考え、顧客に評価される高品質で満足度の高い多様なサービスを提供します。

(働き方の改革、職場環境の充実)

6. 当社は、従業員の能力を高め、多様性、人格、個性を尊重する働き方を実現することに努め、健康と安全に配慮した働きやすい職場環境を整備します。

(反社会的勢力の遮断)

7. 私たちは、社会の安全・秩序に脅威を与えるような反社会的勢力とは関係を遮断します。不当請求は断固として拒絶し、いかなる利益供与も行いません。

(不適切行為への厳正対応)

8.私たちは、この行動規準に反する疑いのある行為を発見した場合は、躊躇なく上司や相談窓口に報告します。経営層は、報告に真摯に対応し、問題解決と再発防止を図ると共に、必要な場合は開示・処分を行う責任を果たします。

(危機管理の徹底)

9. 個人情報など取扱いに注意を要するデータを扱う事業者であることを自覚し、信頼性の高いシステム運営を行います。また、システム障害、大規模災害、テロ等多様化するリスクの発現を想定して、業務の継続を主眼に置いた体制を整備し、これを着実に運用していきます。